



みらいっうしん

10月号

2022年10月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

遊びの中で主体性を育む子ども達

暑さが少し残るものの、秋風が心地よい季節となりました。朝晩と日中の寒暖差を感じますので、引き続き体調管理にお気を付け下さい。さて、秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・思い浮かべるとたくさんあります。散歩、遠足、運動会、お月見、ハロウィン等のイベントが目白押しで、読書の秋の如く、集中力も増し、たくさんの学びを吸収すると言われています。また秋は、「女心と秋の空」とよく言われるように天候の変化も激しいです。今年も、多くの台風が発生し、関東地方も大雨、強風に見舞われ、気象変動の怖さを痛感しました。また秋は、味覚の秋ともいわれるように、新米、さんま、秋鮭、栗、さつまいも、柿など旬な美味しい食べ物がたくさん実りを迎えることから、食欲が増し体力もパワーアップすることができますね。みらいこども園の子ども達も、秋の風を体一杯に感じ毎日園庭を駆け回り、笑い声と元気な姿を見せてくれています。2学期に入り友達同士の関わりが増えたことで、小さな「子ども社会」にも大きな変化が生まれ、遊びもかなり活発になりました。好きなことを見つけて喜んで遊んでいる子、1つの遊びに夢中になっている子、仲の良い友達と会話をしながら遊びを共有し工夫して楽しんでいる子、お兄さんお姉さんの頑張る姿に憧れ一生懸命挑戦する子など、十人十色ではありますが、たくさんの場面で、より成長している姿が感じとれます。時に自分の思いが通らず泣いたり、落ち込んだり、相手を罵倒したり、手が出てしまうなどの心の葛藤もありますが、自らが環境に関わり、良し悪しに気づき、感じ、考えて行動することは、主体性が養われていることです。「子どもの社会」の生活や遊びを体験することで、集団生活における人間関係の大切さを知り、友達と伝え合い分かち合う喜びを得ることで、人への信頼感、思いやり、尊重する気持ちが芽生え人と生きる術を学びます。この秋の実り溢れる機に大いに遊び、様々な経験をして欲しいと思います。

10月8日に予定している「親子で遊ぼう☆ふれあいディ（運動会）」は、体を動かす楽しさを知ること、友達同士で考えたものを協力して達成感を味わうことを目的にしています。とかく、運動会は、競争心を高めることや練習を積み重ねたものを見せるものと固定観念にとらわれがちですが、子どもの主体性を大切にしたいという思いから、今までにない運動会の開催を以前から考えていました。より良い開催方法として、幼児組は学年ごとの開催になりますが、お子様と一緒に競技に参加し、成長を分かち合っていたきたいと思ひます。

コロナウィルス感染症は今もなお続いております。今後の園行事もしばらく慎重に取り組む必要があると考えていますが、職員一丸となってお子様一人一人の感性を伸ばし、子ども達の行動をたくさん観察し、より良い成長が出来るよう導いていきたいと思ひます。

乳児ふれあいひろば



ジャンプしながら走る？



リレーグループの話し合い（にじ組）

海賊の帽子は何色にしようかな～？

